

「カードケータイ KY-01L」が 国内の移動通信事業者(MNO)として初のiFデザインアワード2019 金賞を受賞

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)のオリジナルモデル「カードケータイ KY-01L」が、世界3大デザイン賞^{※1}の一つである「iFデザインアワード2019」の最優秀賞「iFゴールドアワード」を、国内の移動通信事業者(MNO)として初めて受賞しました。



「iFデザインアワード」は、ドイツのiF(インターナショナル・フォーラム・デザイン)が主催し、全世界の工業製品などを対象に優れたデザインを表彰するデザイン賞です。今回は52か国、6,375件の応募の中から厳正な審査を経て、わずか66件に最優秀デザインとして最も荣誉ある「iFゴールドアワード」が授与されました。現地時間2019年3月15日(金)、授賞式が執り行われました。

「カードケータイ KY-01L」は、世界最薄・最軽量^{※2}カードサイズの携帯電話です。これ一つで高音質のVoLTE通話が可能なほか、ブラウザやSMSなど、携帯電話としての基本機能も搭載しています。ディスプレイ部には、静止画面での電力消費がゼロ^{※3}である電子ペーパーを採用し、小型化と長時間の電池持ちを両立しました。また、電子ペーパーの特徴である紙のような雰囲気を生かした仕上げとし、まるで紙から文字が浮かび上がるような一体感を実現しています。これまでになかった特徴的な機種だからこそ、誰にでも使いやすい、シンプルなデザインをめざしました。いつでもどこでも持ち出してほしい、そんな想いをこのサイズに込めて商品化いたしました。



【審査員の講評】

かつてない発想の携帯電話。私たちの生活の一部となっている携帯電話に全く異なる発想のアプローチを試みた、画期的な製品です。大切なデータが満載のスマートフォンを持ち歩きたくない場面などで、このスタイリッシュかつスマートな「カードケータイ」が活躍するでしょう。

【受賞に寄せてのコメント】

(株式会社NTTドコモ プロダクト部 デザインディレクター 宮沢 哲)

スマートフォンが大型化する昨今、携帯電話の新たな選択肢として、「カードサイズ」をデザインテーマに企画しました。細部に至るまで一切の妥協をせず、製品のクオリティーや使いやすさを磨き上げたことが、海外でも高く評価されたことを大変うれしく思います。カードサイズにすることで、つながらない時間をなくしたい、そんな想いでメンバー一丸となって取り組みました。私たちは今後も「デザイン」をベースとして時代を捉え、お客さまの声に真摯に寄り添い、世の中の課題解決と、より一層豊かなコミュニケーション文化の創造を模索してまいります。

ドコモは、これからも「いつか、あたりまえになる」新たな価値をお客さまにお届けしてまいります。

【iFデザインアワード(iF DESIGN AWARD)について】

工業デザインの振興を目的に1953年に設立されたデザイン賞。ドイツ・ハノーヴァーを本拠地とするiF(インターナショナル・フォーラム・デザイン)主催のもと、66年にわたり国際的に権威のあるデザイン賞の一つとして、またiFロゴは優れたデザインの証しとして広く認知されています。賞は、プロダクト、パッケージ、コミュニケーション、サービスデザイン/UX、建築、インテリア/建築、プロフェッショナルコンセプトの7分野で構成。世界的に著名なデザイナーをはじめ各分野の専門家が審査を行い、優れたデザインを選定します。

※1 iFデザインアワード(ドイツ)、Red Dotデザインアワード(ドイツ)、IDEAデザイン賞(アメリカ)の三つを指します。

※2 薄さ 5.3mm、重量 47g。2016年1月～2018年8月末に発売、発表された4G対応携帯電話端末(スマートフォンは除き、ストレート形状のものに限る)において。2018年9月5日現在、京セラ株式会社調べ。

※3 操作しない場合の表示電力です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ
プロダクト部 プロダクト企画担当
TEL:03-5156-3646